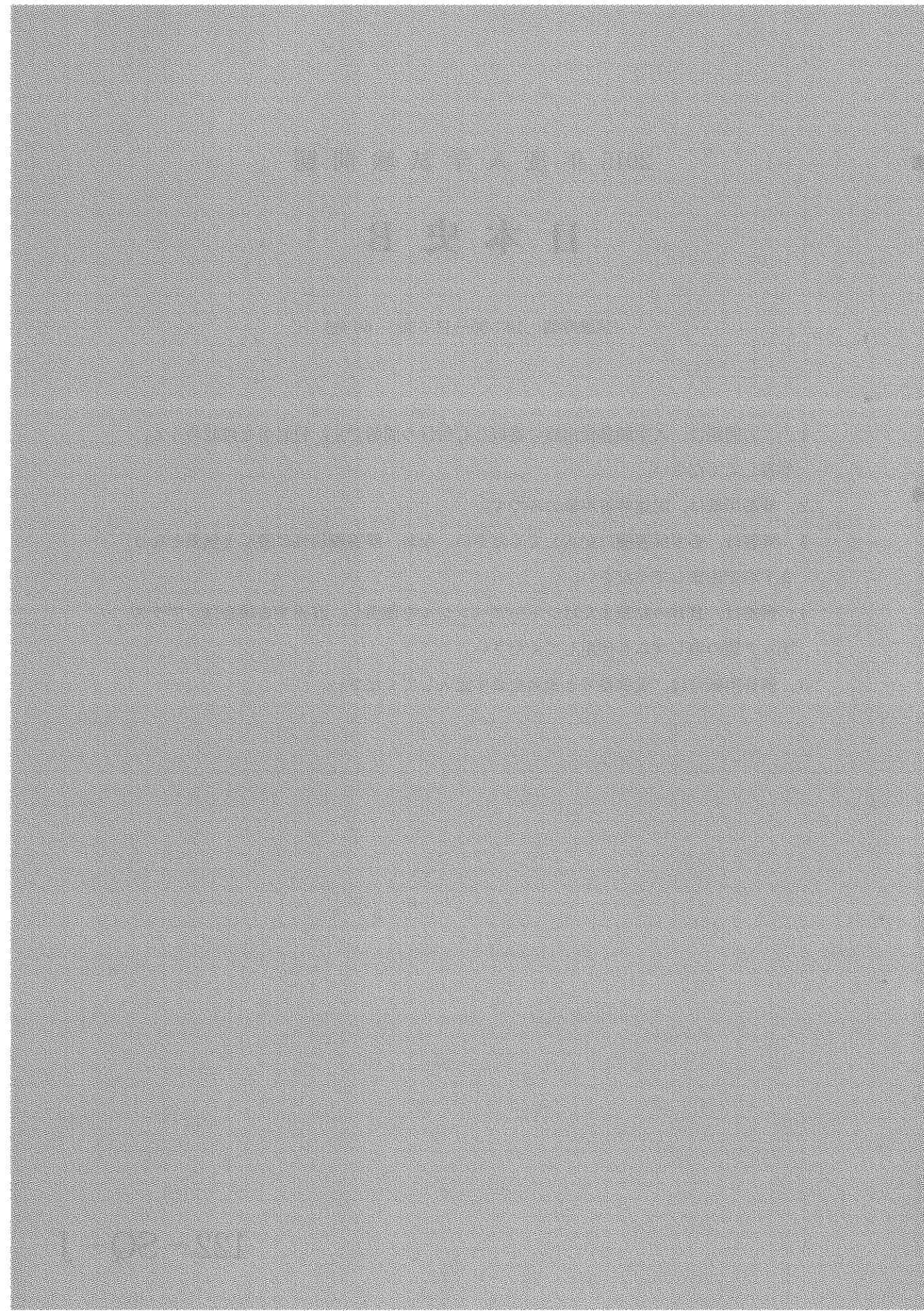


2015 年度 入学 試験 問題

日本史 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この問題は、入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。



I 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(20点)

日本の文化を語るうえで、大陸からの文化伝来は欠くことのできない事柄といえる。例えば、百済から渡来した によって『論語』が伝えられ、同じく百済からの渡来人である は、養蚕や機織りを伝えたとされている。朝鮮半島からは土器の製法も伝えられており、弥生土器の製法を継承して古墳時代初期から用いられた赤褐色の土器である (野焼きのため焼成温度 800℃ 前後) とは異なり、1000℃ 以上の焼成温度で焼きあげる は、5 世紀初頭からつくられはじめた。また、6 世紀に段楊爾^{だんように}以降交替で渡来した五経博士は、儒教の伝播に寄与している。

平安遷都から 9 世紀末にかけての唐風文化^①は、嵯峨天皇が中国風を重んじて、宮廷の儀式を唐風の儀礼を受け入れて整えたり、平安京の殿舎に唐風の名称をつけたりしたことに特徴づけられている。

9 世紀後半から 10 世紀にかけて日本と大陸との関係が大きく変化するなかで、それまでの大陸文化が消化され、日本の風土や日本人の感性に融合させようとする動きによって、国風文化^②といわれる洗練された貴族文化が開花した。

問(1) 空欄 ～ に入る語句を、漢字で解答欄に記入しなさい。

問(2) 下線部①の唐風文化は、嵯峨・清和両天皇の時代の年号にちなんで何と呼ばれているか。その文化名を漢字で解答欄に記入しなさい。

問(3) 下線部①の文化時期に書かれた絵画を、つぎの(ア)～(カ)の中から 1 つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (ア) 正倉院鳥毛立女屏風 (イ) 鳥獸戯画
(ウ) 平等院鳳凰堂屏絵 (エ) 高松塚古墳壁画
(オ) 神護寺両界曼荼羅 (カ) 法隆寺玉虫厨子須弥座絵

問(4) 下線部①の文化時期の建築物で、屋根が寄棟造・檜皮葺き（のちに柿葺き）で、大斗肘木を置くだけの簡素な構造が特徴である建物を、つぎの(ア)～(カ)の中から1つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (ア) 法界寺阿弥陀堂 (イ) 室生寺金堂 (ウ) 慈照寺銀閣
(エ) 法隆寺金堂 (オ) 唐招提寺金堂 (カ) 円覚寺舍利殿

問(5) 下線部②の文化時期に書かれた絵画を、つぎの(ア)～(カ)の中から1つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (ア) 正倉院鳥毛立女屏風 (イ) 鳥獸戯画
(ウ) 平等院鳳凰堂扉絵 (エ) 高松塚古墳壁画
(オ) 神護寺両界曼荼羅 (カ) 法隆寺玉虫厨子須弥座絵

問(6) 下線部②の文化時期の建築物で、広縁を持つ住宅風で、方5間の周囲に1間の裳階^{もこし}をめぐらし、宝形造で檜皮葺きの屋根が緩やかな勾配をなしている建築物を、つぎの(ア)～(カ)の中から1つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (ア) 法界寺阿弥陀堂 (イ) 室生寺金堂 (ウ) 慈照寺銀閣
(エ) 法隆寺金堂 (オ) 唐招提寺金堂 (カ) 円覚寺舍利殿

問(7) 下線部②の文化時期の三蹟の1人で、『白氏詩卷』の作者は誰か。その作者名を漢字で解答欄に記入しなさい。

II 次の〔A〕～〔D〕の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(30点)

〔A〕江戸時代の農業は、米・麦などの穀作を基本とし、水田稲作農業に代表される。

近世中期以降には消費都市の発展を背景にして、米納年貢の対象外であった畑作物の換金化が活発となり、各地域で特産物生産が展開した。幕藩領主も、換金化できる畑作物として四木三草と呼ばれる有用植物の栽培を奨励している。四木とは、茶・・漆・であり、は紙の原料となった。三草とは、・紅花・藍のことである。紅花と藍は、近世ではともに重要な染料であった。紅花は、出羽・陸奥・上総・相模・筑前・肥後などで多く栽培され、とくに出羽の地方は、質量ともに他をぬきこんでいた。藍の場合は、とくに藩で生産された藍が有名である。

〔B〕元禄・享保期には、畿内地域に作の一大生産地が形成された。その要因は大坂・京都という大きな衣料市場を控え作の地力補給として・油粕などの肥料が導入されたことによっている。畿内地域の作中心地の場合、畑では自給野菜を除き大半が作地となっていた。

〔C〕養蚕業は、を栽培し、蚕を飼い、繭をとることであるが、最終生産物の絹織物に仕上げるには、蚕種→養蚕→→織布という作業工程があり、最も分業の展開した産業部門の一つであった。元禄期以降、国内の養蚕地帯は急速に拡大していった。

〔D〕江戸時代の漁業では、地引網や船引網などによる大規模漁法が増大した。九十九里浜の漁、土佐の鰹漁、土佐や紀伊の漁、蝦夷地の鯨・昆布漁などが有名になった。さらに、製塩も塩田が普及し、瀬戸内海が主産地となった。

問(1) 空欄～にあてはまる語句を、漢字で解答欄に記入しなさい。ただし、同じ番号の空欄には、同じ語句が入る。

問(2) 下記の〔a〕・〔b〕の史料は、江戸時代に書かれた農書の一部（適宜書き下し等の修正をしています）である。下記の(1)～(6)から、〔a〕・〔b〕の農書の説明に最もふさわしいものを選び、その番号を解答欄に記入しなさい。また、下記の語群から〔a〕・〔b〕の書名を選び、記号で解答欄に記入しなさい。

〔a〕 我愚蒙を忘れて種植の書をあらはして、民と共に是によらん事をおもひ、唐の農書を考え、本邦の土宜にしたがひ、農功の助となるべき事を撰び、或は畿内諸国に遊観し、広く老圃老農に詢ひ謀り、草稿を集めて十巻とし・・・。

〔b〕 種子は随分揃よく、面一様にして生氣強く、卵の中少しくぼみ、種の地合能くしまり、蛾のはたらき種子のちらし能く、悪き臭ひなく、取扱に種落ず、紙に能く取付しを最上とするべし。

- (1) 佐瀬与次右衛門によって書かれたこの書は、東北寒冷地帯の農業経営のあり方を体系的に記述している。
- (2) 元禄期の農家の年中行事・作物栽培方法・用水・肥料などが記述されており、北陸地方を代表する農書である。
- (3) 元禄年間に著された江戸時代前期の代表的農書である。著者の長い郷村生活の経験や見聞をもとにして農事・農法を詳述しており、版本として広く世間に流布した。
- (4) 17世紀後半に著された、東海地方の農業技術について幅広く記述した農書である。小農自立の進展を背景にして、小農技術の体系化をめざしたものということができる。
- (5) 著者は、江戸後期から幕末期にかけての農学者である。諸国を巡り、見聞に基づき多くの農書を著した。
- (6) 江戸時代の代表的な蚕書であり、内容は養蚕技術全般にわたっている。幕末にはフランス語に翻訳され外国で出版された。

〔語群〕

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| (ア) 耕稼春秋 | (イ) 清良記 | (ウ) 会津農書 |
| (エ) 農業全書 | (オ) 農具便利論 | (カ) 養蚕秘録 |
| (キ) 百姓伝記 | (ク) 綿圃要務 | (ケ) 老農夜話 |

III 次の〔A〕〔B〕の文章を読んで設問に答えなさい。(30点)

〔A〕 戊辰戦争を経て成立した明治政府は、近代国家の確立に取り組むと同時に、近代社会にふさわしい財政制度の確立に努めた。その根幹をなしたのが、1873年に始まる地租改正の取組であった。その主要内容は、(1)地租の課税基準を、幕藩体制のもとの から地価に変え、(2)その納入方法を物納ではなく金納に改め、税率を地価の3%とし、(3)地租の納税者を地主や からなる土地所有者とすることであった。それゆえ、地租改正に先だって、全国的に土地所有者を確定することが必要であり、1872年に田畑永代売買禁止令がとかれ、土地所有者に私的な土地所有権を保障する地券が発行された。

① 明治政府は、以上の地租改正によって、当時主要な産業であった農業に対して全国一律の課税制度を確立すると同時に、自然条件等による米の出来具合や需給関係による米価の変動に関わりなく安定した租税収入を期待できるようになった。1875年には、国税の約85%を地租収入が占めた。だが、この地租改正に際して、明治政府は、江戸時代の 収入の維持を基本方針としたがゆえに、土地所有者の負担は変わらず、それに不満を抱いた土地所有者による地租改正反対の一揆が全国各地で多発した。とくに、1876年に 県の真壁騒動、三重・愛知・岐阜・堺の4県にまたがった伊勢暴動は、まだ権力基盤が安定してい
なかつた政府を大いに驚愕させ、^② 政府は、翌1877年に地租を3%から2.5%に軽減した。

この地租改正は、安定した地租収入が殖産興業を通じて日本社会の近代化に大きく貢献した半面で、地主＝小作関係の拡大と地主の強化を促進し、松方デフレ^③
による農民の広範な没落をへて、耕作地における小作地比率を大きく上昇させた。

問(1) 空欄 ～ に当てはまるもっとも適切な語句、地名を、解答欄に記入しなさい。

問(2) 下線部①に関連して、1872年に発行された地券は何と呼ばれているか。もっとも適切な地券名を、漢字で解答欄に記入しなさい。

問(3) 下線部②に関連して、政府は、この地租改正反対一揆と士族反乱の結合を恐れた。1874年2月に江藤新平らによって起こされた乱の名称を解答欄に記入しなさい。

問(4) 下線部③に関連して、1892年の小作地比率として、もっとも適切なものを、下記の選択肢のなかから選び、解答欄に記号で記入しなさい。

- (ア) 約2割 (イ) 約3割 (ウ) 約4割 (エ) 約5割
(オ) 約6割

〔B〕 近代社会の成立は、経済的には資本主義的生産にもとづく商品・貨幣経済の発展として現れる。そのため、明治政府は、資本主義的市場経済の発展を支える近代的な貨幣制度の確立に努めた。1871年に新貨条例によって、(1)貨幣単位を従来の両から円に改め、(2)貨幣計算を従来の 進法から10進法に変え、(3)本位貨幣を金貨と定めた。

他方で、脆弱な財政基盤のゆえに、明治政府は、戊辰戦争などの戦費調達のために成立当初から不換の政府紙幣である や1872年に新たに発行された明治通宝札などを大量に発行していた。この事態に対して、渋沢栄一らは、本位貨幣に裏づけられていないこれらの不換紙幣を整理し、殖産興業を促進するために、1872年に国立銀行条例を制定させ、兌換の銀行券を発行する民営の国立銀行を創設しようとした。^①

だが、西南戦争により巨額の不換政府紙幣が発行されたために、1870年代末には政府紙幣の によるインフレーションが発生した。1881年に大藏卿になった松方正義は、従来の積極財政とそれを支えた不換政府紙幣の乱発がインフレーションを招いたとの立場から、(1)軍事費を除く徹底した緊縮財政、(2)官営工場の払下げ、(3)煙草税や酒造税などの増税、(4)これらにもとづく不換政府紙幣の整理に踏み切った。さらに、1882年に日本銀行を設立し、銀行券の発行を統一し、20年間でその他の銀行を に転換することにした。その後 1885年に銀本位制にもとづく兌換銀行券が発行され、さらに、日清戦争の巨額^② の賠償金をもとに、1897年の によって、新貨条例以来の念願であっ^③

た金本位制が実現されることになった。

問(5) 空欄 ～ に当てはまるもっとも適切な数値、語句を、解答欄に記入しなさい。

問(6) 下線部①に関連して、銀行券の兌換義務を外すことによって、民営の国立銀行の増大を招いた国立銀行条例の改正は何年に行われたか。西暦年号を、下記の選択肢のなかから選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (ア) 1874年 (イ) 1876年 (ウ) 1877年 (エ) 1879年
(オ) 1881年

問(7) 下線部②に関連して、日本銀行が発行したこの銀行券の正式名称を漢字8字で解答欄に記入しなさい。

問(8) 下線部③に関連して、下関条約で約定された賠償金2億両は、日本円ではいくりに相当したか、もっとも適切な数値を、下記の選択肢のなかから選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (ア) 約1億円 (イ) 約3億円 (ウ) 約5億円 (エ) 約7億円
(オ) 約9億円

IV 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(20点)

第一次世界大戦前後、世界的な民主主義の高まりのなか、サラリーマンや弁護士・医師などの都市中間層が生まれ、民主的な政治を求める気運がもりあがった。この時期は①社会運動が本格化した。さらに②マスメディアも発達して、文化の大衆化が進んだ。学問研究では③人文・社会科学では自由主義的・実証的研究が行われた。例えば、哲学では、『善の研究』を著した が独自の哲学体系を構築した。一方、④自然科学の分野でも、新たな発明・発見が相次いだ。 がK S 磁石鋼を発明し、 病の研究で知られる野口英世らが、世界的な名声を得た。さらに第一次世界大戦中頃から、産業と科学の結合の必要が痛感され、⑤理化学研究所など多くの研究機関がうまれた。

また、大戦景気をきっかけに、植民地経営が本格化し、大企業が台湾・朝鮮・中国に進出した。⑥紡績業については、 ともよばれる日本資本の大きな工場が、東洋紡績会社や鐘淵紡績会社によって上海や青島につくられた。

問(1) 空欄 ~ に適切な用語を漢字で解答欄に記入しなさい。

問(2) 下線部①に関して、産児制限を提唱し、労働農民党の候補者として第一回普通選挙で当選し、その後、東京神田で刺殺された人物として、最も適切なものを下記の選択肢から選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (ア) 山本宣治 (イ) 宮本百合子 (ウ) 小林多喜二 (エ) 羽仁五郎
(オ) 三木清

問(3) 下線部②に関して、雑誌『改造』を発行した人物として、最も適切なものを下記の選択肢から選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (ア) 長谷川如是閑 (イ) 高山樗牛 (ウ) 鳥居素川 (エ) 滝田樗陰
(オ) 山本実彦

問(4) 下線部③に関して、ブレンターノに師事し、社会政策学派として、経済理論・経済史を導入し、『資本論』を紹介した人物として、最も適切なものを下記の選択肢から選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (ア) 河上肇 (イ) 山田盛太郎 (ウ) 猪俣津南雄 (エ) 森戸辰男
(オ) 福田徳三

問(5) 下線部④に関して、ヒルベルトに学び、代数的整数論を研究した数学者として、最も適切なものを下記の選択肢から選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (ア) 高木貞治 (イ) 遠山啓 (ウ) 田辺元 (エ) 仁科芳雄
(オ) 利根川進

問(6) 下線部⑤に関して、理化学研究所の所長であり、新興財閥へと発展させた人物として、最も適切なものを下記の選択肢から選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (ア) 中野友礼 (イ) 大河内正敏 (ウ) 中島知久平 (エ) 久原房之助
(オ) 森籙利

問(7) 下線部⑥に関して、綿糸輸出量が綿糸輸入量を超えた年として、最も適切なものを下記の選択肢から選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (ア) 1890年 (イ) 1897年 (ウ) 1904年 (エ) 1914年
(オ) 1917年